

令和7年度研修

水害対応タイムライン

— 適切なタイミングで躊躇なく行動 —

共 催 一般財団法人 全国建設研修センター
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

近年、気候変動の影響により、水災害が激甚化・頻発化しており、毎年のように全国各地で人命や財産、社会経済活動等に甚大な被害をもたらしています。被害を最小化するためには、洪水予報等を発表する国の河川事務所、都道府県の土木事務所や地方气象台、避難情報を発表する市町村等の関係機関が連携して、災害時の状況を予め想定し共有した上で、「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して、基本的な防災行動とその実施主体を時系列で整理する「水害対応タイムライン」の作成・活用・改善が有効です。

本研修では、全国での流域タイムラインの普及状況を踏まえ、気象警報や避難情報等の仕組み、活用方法、水害対応タイムライン（防災行動計画）の作成や活用方法等について修得し、タイムラインコーディネーターとなる人材を育成することを目的としています。

集合研修では、全国から集まった参加者の相互交流、情報交換の貴重な機会として好評を得ています。

また、当該研修の講義をライブ研修として、リアルタイムでも配信いたします。

皆様のご参加をお待ちしています。

◎受講された方々の声

- ・基礎的な内容から実際に活用されているタイムラインの状況、課題等も網羅的に学ぶことができました。
- ・実際に災害対応された方がどのように考え、行動したかを聞くことができ、生の声が一番響く、届くというのが伝わる講義でした。

【研修期間】 令和7年11月26日(水)～11月28日(金) 3日間

【研修場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL : 042-324-5315 <https://www.jctc.jp/>

※当センターホームページよりインターネットで研修の申込みができます。

※受講経費の助成制度がある県（政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります）

集合研修は、青森・岩手・栃木・群馬・〔神奈川〕・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・〔岡山〕・山口・徳島・高知・〔大分〕・宮崎の18県。ライブ研修は〔 〕を除く15県。

詳細は、各県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

※厚生労働省人材開発支援助成金(人材育成支援コース)について

当センターでは、事業主の方が申請に必要な、本研修に派遣された従業員の受講状況の証明をします。

なお、当該助成金が支給されるかどうかは、各都道府県労働局が研修受講後の支給申請に基づき、審査の上決定することとされています。詳細は、厚生労働省又は都道府県労働局のホームページをご覧ください。

令和7年度研修「水害対応タイムライン」実施要領

－ 適切なタイミングで躊躇なく行動 －

1. 目的 流域タイムラインの全国普及を踏まえ、気象警報や避難情報及び水害対応タイムライン（防災行動計画）の活用方法を修得する。
2. 対象者 国、地方公共団体、市民生活に関連のある社会インフラ関係機関や地区組織、コンサルタント等において防災担当業務に携わる者
3. 募集人数 【集合研修】40名 【ライブ研修】定員はありません。
4. 研修期間 令和7年11月26日(水)～11月28日(金) 3日間

【集合研修に関する注意事項】

※通学制です。

※近隣の提携ホテルに研修生特別料金で宿泊できます。

当センターホームページ又は下記アドレスより予約できますのでご利用ください。

<https://www.jctc.jp/training/hotel>

5. 集合(配信)日時 11月26日(水)1号館1階ロビーの教室案内板にて教室をご確認の上、12時30分までに教室に入室（ライブ受講はログイン）してください。
6. 教科目、講師及び研修場所（次頁以降参照）
7. 申込先及び問い合わせ先
一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当：竹本、水野
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2
ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>
TEL：042-324-5315 FAX：042-322-5296
※申込方法 【集合研修】インターネット、郵送、FAX
【ライブ研修】インターネット

8. 研修会費及び納入方法

研修会費（1人当たり、消費税含）

74,000円

請求書をお送りしますので、請求書到着後にお振り込みください。

※振込手数料はご負担ください。

請求書の発送・納入方法につきましては、
当センターホームページ「<https://www.jctc.jp/training/kaihi>」を
ご確認ください。

9. 申込締切日 令和7年11月12日(水)

※上記締切日以降、受講者のキャンセル及び変更はできかねますので、ご了承ください。

【集 合 研 修】

10. 継続教育(CPD)について

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育(CPD)認定プログラム〔昨年度単位数 13.83〕

一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会の継続教育(CPDS)認定プログラム〔昨年度ユニット数 6〕

11. その他

- (1) ご持参いただくもの(筆記用具、共済組合員証又は健康保険証、雨具等)
- (2) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
- (3) 座席の位置や個人差により体感温度に差がありますので、カーディガン等の持参をお勧めします。
- (4) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

【お知らせ】

食事については、平日の昼食時のみ、お弁当(税込550円)の販売を行います。
支払いは、直接販売員へお願いします。

【ライブ研修】

10. 継続教育(CPD)について

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育(CPD)認定プログラム〔昨年度単位数 13.83〕

※ライブ研修は全国土木施工管理技士会連合会の継続教育(CPDS)認定プログラムではありません。

11. ライブ研修に関するご案内

(1) 動作環境

- ・インターネットが閲覧できる環境(通信料は各自負担となります)
 - ・推奨OS: Windows10以降、Mac OSX 10.11以降
 - ・推奨ブラウザソフト: Google Chrome、Microsoft Edge(バージョンはすべて最新版)
 - ・上記環境に該当しても、セキュリティ環境によっては閲覧できない場合があります。
- ※研修センターホームページの申込画面にある確認用動画で閲覧可能か、お申込み前にご確認ください。

(2) 注意事項

- ・お申込みに当たっては、「WEB研修規約」の内容を確認し、同意の上お申込みください。
- ・動画を録画・キャプチャーすることやSNS等へのアップは禁止します。
- ・サービス利用に当たってのサポートは致しかねます。
- ・申込者のみ閲覧可能とし、視聴ID等の譲渡を禁止します。
- ・受講される人数分お申込みください。

(3) その他

- ・申込締切日以降、受講に必要なID/パスワードを送信します。
また、申込時に登録された住所に「研修テキスト」を送付します。
- ・研修開始の3日前(土日祝日は除く)までに「ID/パスワード」「研修テキスト」が未着の場合はご連絡ください。
- ・「ID/パスワード」通知後にキャンセルはできません。

12. 修了証書の発行

ID/パスワード送信時に、「学習報告書」を添付いたします。「学習報告書」に必要事項をご記入の上、返信してください。確認後、修了証書をお送りいたします。

「水害対応タイムライン」 時間割

－適切なタイミングで躊躇なく行動－

月日	時間	講義 時間	教科目	概要	講師
11/26 (水)	12:30 ～ 13:00		開講の挨拶・オリエンテーション		
	13:00 ～ 15:00	2.0	タイムライン基礎編	・タイムラインの発見と歴史 ・タイムラインエトセトラ ・映像で見るタイムライン ・タイムラインが命を救った	東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター 客員教授 松尾 一郎
	15:10 ～ 16:10	1.0	タイムライン応用編	・流域治水と流域タイムライン ・タイムラインで機関連携を進める	京都大学防災研究所 特任教授 井上 智夫
	16:20 ～ 17:20	1.0	河川管理・防災とタイムライン	・河川管理とタイムライン ・タイムラインふりかえりと改善 ・タイムラインを防災業務計画に位置づける	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室 企画専門官 内田 剛二
11/27 (木)	9:00 ～ 10:30	1.5	避難情報の発令とその基本	・近年の水害と避難の現状について ・避難に関するガイドラインについて ・防災計画とタイムライン	内閣府政策統括官（防災担当） 付 参事官（調査・企画担当） 付 風水害対策調整官 諸橋 拓実
	10:40 ～ 11:40	1.0	タイムライン運用のトリガーとなる防 災気象情報の活用	・台風性タイムラインと防災気象情報 ・前線性タイムラインと防災気象情報 ・土砂災害タイムラインと防災気象情報	気象庁 大気海洋部気象リスク対策課 極端気象対策官 大矢 恒太郎
	12:40 ～ 13:40	1.0	タイムライン運用のトリガーとなる河 川防災情報の見方、使い方	・タイムラインの運用に必要な川の防災等情報システム の見方、使い方 ・浸水想定区域図とリスクラインを組み合わせた I D R 4 Mの活用 ・タイムラインのトリガーとなる緊急速報メールやワンコイ ン浸水センサの活用（逃げなきコールの推進）	国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室 企画専門官 成島 大輔
	13:50 ～ 15:20	1.5	2020年7月豪雨とタイムライン	・球磨村の防災の取組 ・球磨村タイムラインと流域タイムライン ・2020年7月豪雨AARとこれから	熊本県球磨村 防災管理官 中渡 徹
	15:30 ～ 17:00	1.5	紀宝町マルチハザード・タイムライ ンで命を守る	・紀宝町とタイムライン 10年 ・町水害対応タイムラインとその効果 ・自主防災会コミュニティ・タイムライン ・タイムライン防災情報による共有 ・津波タイムラインへの挑戦	三重県紀宝町 特別参与 向井 美樹也
11/28 (金)	9:00 ～ 10:00	1.0	自治体のコミュニティとタイムライン	・自治体防災の課題 ・行政とコミュニティに生かすタイムライン ・要支援者避難タイムラインへの挑戦	タイムライン防災・全国ネットワーク国民会議 事業事務局長 （元 板橋区防災危機管理課長） 川口 隆尋
	10:10 ～ 11:10	1.0	流域タイムラインの策定と運用 （球磨川流域タイムラインの経験 から）	・水害タイムラインの運用 ・WEBによる危機感共有の取組とその効果 ・タイムラインの改善	国土交通省 中国地方整備局 河川部 河川計画課長 （前 九州地方整備局 八代河川国道事務所 流域治水課長） 向田 清峻
	11:20 ～ 12:20 13:20 ～ 14:20	2.0	総合討論	・タイムラインをどう生かす？	東京大学大学院 情報学環総合防災情報研究センター 客員教授 松尾 一郎
	14:20～14:30		閉講式		
	合計 14.5				

※ 教科目及び講師等については変更することがあります。

令和7年度研修 水害対応タイムライン 集合研修用 申込書 (一般)

※ライブ研修の申込は、インターネット申込のみとなります。

【受講申込者入力欄】 C305

ふりがな				年齢	性別
受講者氏名				満才	☐ 男 ☐ 女
最終学歴	☐ 大学院 ☐ 大学 ☐ 短大 ☐ 高専 ☐ 専門学校 ☐ 高校 ☐ その他 科卒業/修了				
当研修に関する経験年数	年	ヶ月	役職名	☐ 事務 ☐ 技術	
勤務先種別	☐ 国・地方公共団体 ☐ 独立行政法人等 ☐ 技術センター・財団・団体 ☐ 建設業者 ☐ コンサルタント ☐ その他				
勤務先	〔勤務先名〕				
	〔所属部課名〕				
	〒 —				
	TEL: — —				
受講者E-mailアドレス	@				

【受講者派遣機関名入力欄】 ☐上記受講者と同じ

派遣機関名					
所在地	〒 —				
連絡先	— —				
派遣事務担当者	〔所属〕				
所属・氏名	〔氏名〕				
E-mail アドレス	@				

【請求書情報入力欄】 ※宛名の空白指定はできません。日付は発行日になります。

請求書の送付方法	☐ 郵送 ☐ メール	送付先	☐ 派遣事務担当者 ☐ 受講者
請求書宛名			
登録番号 ※任意	T		登録 ☐ なし
(インボイス適格請求書発行事業者でない場合は、登録なしにレ点を入れてください)			

※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報、研修を円滑に実施するためのものです。
申込書の記載事項は、研修の事務連絡及び実施に必要な書類等の作成以外の目的では利用いたしません。

< 研修場所 >

一般財団法人 全国建設研修センター
研 修 会 館

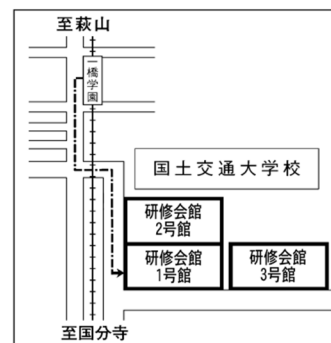
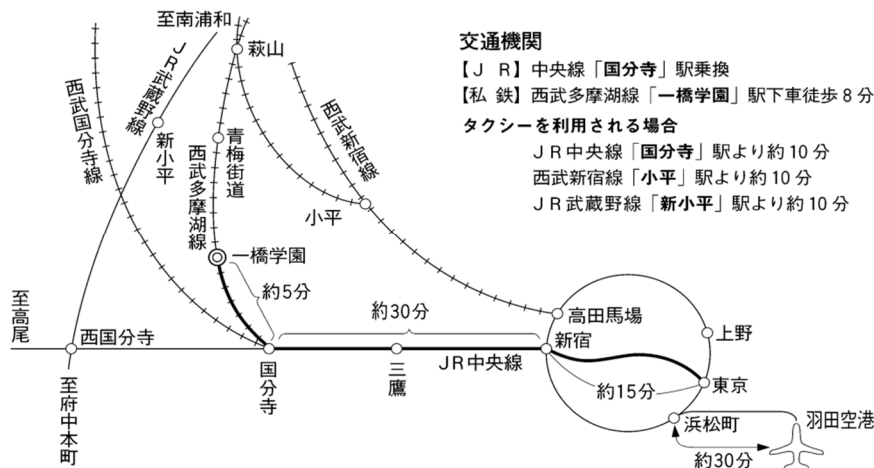
※1号館にお越しください。

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042(324)5315(代)

FAX 042(322)5296

<https://www.jctc.jp/>



令和7年度に実施する研修の実施計画についてはホームページでご確認ください。

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

【メール配信】 メール配信サービス「建設研修のお知らせ」は、あらかじめご登録いただいた方に、募集中のコースなどの情報を随時お知らせするサービスです。
なお、この場合は全ての研修について配信されます。
ご希望の方は、下記 URL または二次元コードよりお申込みください。

<https://www.jctc.jp/training/mail-service>

